



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東  
 コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 丸山 沢水 TEL 026-224-6666  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,542	13.2	276	—	280	—	165	—
2020年3月期第1四半期	3,128	—	△209	—	△206	—	△157	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 170百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △160百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.61	29.56
2020年3月期第1四半期	△28.35	—

(注) 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	17,566	7,603	43.2	1,361.27
2020年3月期	18,693	7,533	40.2	1,348.72

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,585百万円 2020年3月期 7,515百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,736	△12.7	△452	—	△429	—	△298	—	△53.58
通期	15,720	5.7	343	14.0	374	19.4	257	△1.7	46.12

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	5,837,200株	2020年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	264,681株	2020年3月期	264,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	5,572,519株	2020年3月期1Q	5,558,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況が続いておりますが、緊急事態宣言の解除に伴い、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は下げ止まりつつあります。先行きにつきましては、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がありますものの、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されております。

情報サービス産業におきましては、全産業におけるソフトウェア投資は、おおむね横ばいとなっており、先行きについても、企業収益の減少や先行き不透明感の高まりにより、当面、慎重な動きが続くと見込まれます。

このような状況のもとで、当社グループは、市区町村向けの総合行政情報システムをはじめとする基幹系システム及び財務会計等の個別業務システムの新規顧客獲得とリプレース、また、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、流通業向けの販売管理システム等の新規顧客獲得とリプレース、合わせてデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、公共分野での、介護保険データ標準レイアウト改版等の制度改正対応、基幹系システムの導入、並びに産業分野でのリース業務パッケージ及び販売管理システムの導入、機器販売等により売上、利益を確保しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、客先訪問を自粛し、Web会議や電話対応による営業活動を推進したこと及びセミナー等を中止としたことで、営業活動費等が減少しました。

なお、一時差異の解消に伴う繰延税金資産の減少により、法人税等調整額110百万円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,542百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は276百万円（前年同四半期は209百万円の営業損失）、経常利益は280百万円（前年同四半期は206百万円の経常損失）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は165百万円（前年同四半期は157百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## &lt;公共分野&gt;

定例業務である住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、介護保険データ標準レイアウト改版等の制度改正対応、基幹系システム共同利用化、自治体情報セキュリティクラウドの運用、基幹系及び情報系システムのリプレース等により、売上を確保しました。利益につきましては、第2四半期に売上予定であった案件の一部が前倒しになったこと等により、売上が順調に進展したことに加え、営業活動費が減少したことが起因し、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,682百万円（前年同四半期比24.8%増）、営業利益は340百万円（前年同四半期は153百万円の営業損失）となりました。

## &lt;産業分野&gt;

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ保守及び民間企業向けデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ・販売管理システム・生産管理システムの導入、機器販売等で売上を確保したものの、前年同四半期に売上を計上した介護支援システム導入等の比較的大きな案件がなかったことにより、前年同四半期と比較し、減収となりました。また、利益につきましては、営業活動費の減少があったものの、売上が減少したことにより、営業損失となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は859百万円（前年同四半期比12.2%減）、営業損失は61百万円（前年同四半期は65百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比較して1,127百万円減少し、17,566百万円となりました。これは主に、現金及び預金が266百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,144百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が112百万円及びリース投資資産が108百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して1,197百万円減少し、9,962百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金が399百万円、買掛金が331百万円、賞与引当金が315百万円及び未払法人税等が102百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して69百万円増加し、7,603百万円となりました。これは主に、期末配当により100百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により165百万円増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は、43.2%（前連結会計年度末40.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、第2四半期に売上予定であった案件の一部が前倒しになったこと等があり、売上が順調に推移したほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて営業活動費が減少したこと等により、利益においても当初の予定を上回って推移しております。

しかし、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の第2波が懸念される状況下において、第2四半期に売上を予定している案件の作業を予定通り遂行できるか、不確定な状況であります。

よって、業績予想につきましては、現在、当第1四半期連結累計期間の業績及び新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響を踏まえ精査を行っており、精査が終わり次第、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	706,283	973,083
受取手形及び売掛金	4,405,232	3,261,019
リース投資資産	1,797,397	1,689,360
商品	45,833	159,312
仕掛品	144,969	176,710
原材料及び貯蔵品	30,646	41,092
その他	398,391	377,959
貸倒引当金	△289	△196
流動資産合計	7,528,463	6,678,342
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,607,123	4,547,960
その他(純額)	2,158,154	2,132,185
有形固定資産合計	6,765,278	6,680,146
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2,709,397	2,645,916
その他	175,747	161,397
無形固定資産合計	2,885,145	2,807,313
<b>投資その他の資産</b>		
その他	1,525,760	1,411,303
貸倒引当金	△10,870	△10,936
投資その他の資産合計	1,514,890	1,400,367
固定資産合計	11,165,313	10,887,827
資産合計	18,693,776	17,566,169

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,086,419	754,855
短期借入金	2,932,000	2,902,000
1年内返済予定の長期借入金	351,996	351,996
未払法人税等	126,341	23,352
賞与引当金	657,418	341,605
製品保証引当金	4,948	5,554
受注損失引当金	104,826	90,425
その他	1,693,285	1,474,264
流動負債合計	6,957,235	5,944,054
固定負債		
長期借入金	1,404,676	1,316,677
退職給付に係る負債	1,418,598	1,423,981
その他	1,379,491	1,277,738
固定負債合計	4,202,765	4,018,396
負債合計	11,160,000	9,962,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,088,102	1,088,102
利益剰余金	5,663,879	5,728,596
自己株式	△579,658	△579,658
株主資本合計	7,567,805	7,632,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,705	6,158
退職給付に係る調整累計額	△56,745	△52,973
その他の包括利益累計額合計	△52,039	△46,814
新株予約権	18,010	18,010
純資産合計	7,533,775	7,603,718
負債純資産合計	18,693,776	17,566,169

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,128,489	3,542,108
売上原価	2,492,210	2,401,552
売上総利益	636,279	1,140,555
販売費及び一般管理費	846,260	863,956
営業利益又は営業損失(△)	△209,981	276,599
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	7,245	7,197
その他	1,157	1,442
営業外収益合計	8,410	8,649
営業外費用		
支払利息	4,520	4,444
その他	741	274
営業外費用合計	5,261	4,718
経常利益又は経常損失(△)	△206,831	280,530
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△206,831	280,530
法人税、住民税及び事業税	2,840	5,011
法人税等調整額	△52,068	110,497
法人税等合計	△49,228	115,508
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157,603	165,022
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△157,603	165,022



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157,603	165,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,452	1,453
退職給付に係る調整額	△976	3,771
その他の包括利益合計	△2,428	5,225
四半期包括利益	△160,032	170,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,032	170,247
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。